

小規模多機能型居宅介護事業所

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月1日 (16:00~17:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	赤津麻記子 本木孝 西田リサ 吉田敦 石本信子 阿部達朗 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 寺田律子 佐久間千夏

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1	9	3	0	13

前回の改善計画	事前情報はケアマネが収集し、職員と情報共有するため、『新規利用者情報シート』を作成していく。職員は利用開始後に把握・確認した状況などを『新規利用者情報シート』に追加記入し更新していく。職員間の検討会議に参加できる職員が少なく書面での申し送り中心となるが、夜勤者からの申し送りをノートの確認のみとせず、口頭にて行うことで共有、検討の機会を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	『新規利用者情報シート』を作成し、事前に確認把握することはできたが、利用開始後に追加記入し更新することが不十分であった。口頭による情報共有は、その場にいる職員のみになりがちで他職員に伝わらない事が多かった。その日得た情報、起こった事を記録に残し、必要に応じて口頭で伝達し合う事の徹底がされていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	11	1	0	13
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	10	1	0	13
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5	6	1	1	13
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	5	3	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
新規利用者の事前情報(情報シート)の把握共有ができている。職員間で口頭での情報交換やコミュニケーションはできている。利用者、家族との関わりを積極的に行っている。早く慣れて安心して頂けるよう丁寧に声かけ働きかけをしている。より多く声かけをし、精神面も含め状態の把握ができるよう心掛けた。状態把握に努め、関わりを多く持ち関係性作りに努めた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
新規利用者の情報シートの把握が遅かった。細かな情報を覚えきれない。書面でのみの情報で利用が開始され、探り探りの支援となっている。情報シートの更新等活用しきれなかった。会議に参加できる職員が少ない。申し送り簿で周知できない事を口頭で伝えきれない。その場にいる職員のみでの話し合いになり、他職員に伝わらず情報共有につながらない。その日得た情報、起こった事を記録に残し、必要に応じて口頭で伝達し合う事の徹底がされていない。本人の希望、したいことなど情報として得る事が難しい。家族との関係性ができてなく会話の機会が少ない、要望を聞けていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
『新規利用者情報シート』で事前に確認把握することができている為、今後も継続していく。あわせて情報シートの様式を見直し、利用開始後に追加記入しやすいようにしていく。口頭による情報共有は、その場にいる職員のみになりがちで他職員に伝わらない事が多かったため、その日得た情報、起こった事を申し送りノートに記録する事を職員間で声掛けをし合い書き忘れがないようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月1日 (16:00~17:00)
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	赤津麻記子 本木孝 西田リサ 吉田敦 石本信子 阿部達朗 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 寺田律子 佐久間千夏

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	9	2	1	13

前回の改善計画	利用者が「～したい」や「困っている」ことに対し、職員が対応を考え実施しているが、気付いた時、実施する前に家族に連絡し共に支援・考えていくという姿勢も持つようにする。レクリエーションや趣味、壁画作成等「～したい」を実現するために他職員にも細かなことでも伝え、当日その場になかった職員にも伝わるよう申し送りをしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の困っていることに対し、寄り添いともに考える事はできているが、地域も含め家族と共に支援していくことが十分にできなかった。「～したい」をともに考え提案することができているが、壁画制作等の方向性や完成目標など職員間で共有できない事があった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	4	8	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	7	5	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	5	7	1	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	8	4	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者とのコミュニケーションが取れている。利用者の困っていることに対し、寄り添いともに考えている。職員間の会話の中で利用者の意向など意見交換できている。職員間で協力し、より良い支援となるよう努めている。見守り、感じ取ることで「～したい」に対応している。「～したい」をともに考え提案することができている。興味を示しできそうなものを声かけしたり、提供している。多種多様なレクリエーション活動を準備し提供できている。本人が望む生活ができるよう自ら動き出すことを待つようにしている。困り事があるときや変化に気付いた時はケアマネを通して家族へ報告、思いに答えられるよう努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
ケアプランの長期目標を理解できてない。本人が望む生活を職員に周知できていない。当日出勤していない職員に伝わっていない事がある。職員不足で「～したい」時に対応できない。個々人の「～したい」より、多数決的な対応になっている。どのようなレクリエーションを望んでいるのかコミュニケーション不足で分かっていない。壁画制作等の方向性や完成目標など職員間で共有できていない。興味を示したり取り組めたレクを職員間で共有できていない。集団での活動がメインとなり、個別のニーズややりたい事が見えていない。困っていることに対し事業所のできる事を最優先に考え、本人・家族が何を望むのか共に考え支援していく姿勢が不十分だった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
集団での活動がメインとなり、個別のニーズややりたい事に対応できない事もあるが、多種多様なレクリエーション活動を準備し選んで頂けるようにしていく。利用者の困っていることやニーズをコミュニケーションをより多く取ることで把握し、「～したい」を実現できるようにしていく。「～したい」を実現できるように計画を立て実践していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	赤津麻記子 本木孝 西田リサ 吉田敦 石本信子 阿部達朗 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 寺田律子 佐久間千夏
------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	11	2	0	13

前回の改善計画	申し送りノート等記録物が多く、重複記録の必要があり記載漏れがある。書類の項目ごとにファイリングし、確実に読めるようにしていく。会議の参加率が低く、検討した細かな内容が、他の職員に周知されていないため、記録とともに口頭での申し送り周知もしていく。知ったことは伝え、知らなかったことは尋ねていくようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	会議の参加率は6~7割ほど。会議に参加できなくても記録や申し送りで把握に努めている。書類のファイリングも確実にこなせるようになってきた。当日出勤していない職員に伝わらないことは多くの職員が感じている事であり、具体的な方法を検討していく必要がある。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	3	7	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	7	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	8	2	2	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	9	0	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	10	1	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
6~7割は会議に参加できている。当日の申し送り等、口頭での情報交換ができている。分からない事や疑問に思う事は他の職員やケアマネに確認している。会議に参加できなくても記録や申し送りで把握するようにしている。記録物のファイリングすることで区別が行えており、不要な重複記録をなくすよう整理している。申し送りノートなどが整理されてきており、出勤日の間隔があいても読みやすくなっている。訪問中の自宅での様子を口頭でも情報交換している。声かけを行うが無理強いはず、利用者の体調気分に合わせている。体調変化に気付いたときは、一人で判断せず他の職員に確認を取っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
申し送りノートを確認するのが遅くなることもある。記録が多く、個人の特変など突発事項が周知されていない。個人記録に目が通せていない。書類などの片付けができていない。記録を行う時間がなく、記載漏れがある。職員の誰に伝わっているのかいないのかが分からない。出勤日以外の情報が共有できない。以前の暮らしを意識した関わりをしていない。利用者の気持ちや体調の変化に気付けない事がある。利用者を理解するためのコミュニケーションが不足している。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
会議に参加できなくても記録や申し送りノートを読むことで把握できるようにし、記録物では把握できない部分については、口頭で確認するようにしていく。申し送りノートの確認が遅く、情報共有できていない点については、職員間で申し送りノートを読むことを声掛けし合う。申し送りノートを読むこと書くことの重要性、必要性を全員が認識するようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	赤津麻記子 本木孝 西田リサ 吉田敦 石本信子 阿部達朗 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 寺田律子 佐久間千夏
---------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	7	4	1	13

前回の改善計画	ケアマネ中心に家族との面談や電話等で情報把握に努め、利用者の変化について情報共有し、サービス・支援の変更についてもスムーズに対応ができていたため、今後も継続していく。事業所が知りうる地域の社会資源(老人会、オレンジプラスカフェ、喫茶店等)について家族に情報提供していくように努める。訪問の時間には制限があるため、事業所のみでは支えきれない点をケアマネより家族に伝えていったり、次のステップに向けた話をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者・家族の要望等を把握し職員間で情報共有し、サービス、支援の変更や追加などスムーズに対応できたが、事業所内での対応にとどまり地域の社会資源の活用に至らなかった。利用者を家族、地域と共に支える対応が不十分であった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	7	4	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れずに支援していますか?	1	6	5	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	6	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	3	7	2	13

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
より多くの情報を家族から聞き取り、生活スタイルや人間関係、地域との関係などを把握し職員と共有している。今までの地域での生活が継続できるよう支援している。サービスの変更など本人家族の要望に応じた対応ができていた。利用者の変化について把握し、情報共有することでスムーズな対応に繋がっている。利用者や家族の情報を口頭でも申し送りを受け介助・支援にあたっている。利用者の変化を申し送りノートに記入する事やケアマネを通して家族へ情報提供している。利用者の変化に応じ地域資源の活用提案ができていた。地域イベントに参加することができた。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
地域イベントの参加が一部の利用者に限られた。家族の同意がなく参加できなかった利用者がいた。利用者の変化によるサービスの追加など家族に納得してもらえる説明の仕方が難しい。要望等を把握してもそれに対応できる地域資源の活用に至らず問題解決しない。事業所での在宅サービスが中心となって地域資源の活用ができていない。利用者や地域をつなげる支援ができていない。利用者が生活する地域の資源について細かく把握できていない。利用者本人が地域活動への参加が難しくなっている。サービス以外での自宅での生活が把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者の生活スタイルや人間関係、地域との関係、体調や生活状況の変化などを把握し職員間で共有できている為、今後も継続していく。サービス、支援の変更や追加などスムーズに対応できたが、事業所内での対応にとどまっていたため、地域の社会資源も活用できるように積極的に情報収集していく。地域の祭りなどイベントに参加できるよう職員の勤務や家族への連絡など余裕を持って調整していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	赤津麻記子 本木孝 西田リサ 吉田敦 石本信子 阿部達朗 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 寺田律子 佐久間千夏
----------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	11	0	1	13

前回の改善計画	利用者や家族のニーズに合わせて前向きな検討がされ、ケースバイケースでサービスの提供ができているため、継続していく。時間制限のある訪問サービスでもでき得る在宅生活の支援をしていく。ケアプランにおいて援助の方針を明確にし職員に周知する。職員はそれに沿って支援や介助をし、フェードバックしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	状態の変化や必要に応じ家族への連絡を行いながら、サービスの変更等の対応ができ、画一的ではない本人のニーズに沿った介助・支援ができていく。地域の社会資源の活用を積極的に行えていない、地域の資源を利用した支援につなげる事ができなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	8	3	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	10	1	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	8	1	1	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	9	1	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
状態の変化や必要に応じ家族への連絡を行いながら、サービスの変更等、臨機応変、柔軟に対応できている。当日出勤の職員間で話し合いながら支援をしている。利用者、家族の状況に応じた通い・泊り・訪問のサービスの使い分けをし、家族の負担軽減や利用者の不安軽減になるように努めた。通いの利用者も体調に合わせてベッドで休んで頂いている。画一的ではない本人のニーズに沿った介助・支援ができていく。利用者の表情や会話からの気付きを大切に、気付いたことは記録し、口頭でも伝えている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
感染対策も必要であり地域の社会資源の活用には消極的になり行えていない。利用者のニーズに合った地域資源を把握できていない。情報収集ができておらず、他の職員に伝えることができない。利用者の気分の変化に気付けない時がある。ニーズが変わりやすく職員への周知が間に合わない。自ら訴えをされない利用者へ柔軟な支援ができていくか分からない。気付いている点を参加できない会議で話し合ってもらえるよう事前に伝えていない。地域の資源を利用した支援につなげる事ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者の状態の変化や必要に応じ家族への連絡を行いながら、通い・泊り・訪問のサービスの変更等、臨機応変、柔軟に対応できているため、今後も継続して行っていく。利用者のニーズに沿った日常的に活用できる地域の社会資源をより多く情報収集し、それらを情報提供する事で利用者や家族に選んで頂けるよう支援していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

6. 連携・協働	メンバー	赤津麻記子 本木孝 西田リサ 吉田敦 石本信子 阿部達朗 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 寺田律子 佐久間千夏
----------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	10	0	0	13

前回の改善計画	新型コロナウイルスの感染対策の緩和により事業所としての行事レクリエーション、GHや特養との交流、施設全体の夏祭り等のイベントが実施できたため今後も継続実施していく。さらに植物園への外出やドライブ、少人数で個別外出、音楽レクリエーションなどを通し利用者を楽しんでもらえるよう努めていく。外部ボランティアや学生など事業所に足を運んでいただけた際には利用者と交流が持てるよう配慮していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	事業所としての行事レクリエーションの実施、施設全体イベントへの参加ができており、外出レクリエーションも少しずつではあるが実施できるようになり利用者を楽しんで頂けた。地域の機関や団体との交流、ボランティアの受け入れを事業所として行うことができなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	3	4	6	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	4	7	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	1	4	8	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	3	3	7	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>行事で施設全体や外部との交流ができるようになってきた。施設行事に地域住民も参加して頂けた。外部ボランティアの受入れが増えてきて楽しんで頂けている。近隣施設の行事に参加することもできた。楽しんで頂けるようなレクリエーションを提案できた。気候の良い時の外出が徐々にできるようになってきた。利用者のみならず、職員も楽しんで一体感を感じられるようにしている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>他ユニットとの交流がまだ少ない。外出レクを多く実施できなかった。少人数での外出は楽しんで頂けたが、より多くの利用者が外出できる機会を設けることができなかった。曜日が決まっている行事に当日利用されない方に参加して頂けない。他のサービス機関や団体、地域包括との会議に参加する機会が事業所としてなかった。職員自身が地域の機関や団体との関わりがなく事業所として交流ができなかった。地域行事のお知らせを頂いても、感染症等の影響で積極的に参加できない。地域の機関や団体の情報を得る時間的な余裕がない。事業所としてボランティアの受入れ交流ができていない。地域住民と交流することができなかった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>施設全体の行事で地域住民も参加され、外部との交流ができるようになってきた。外部ボランティアの受入れも増えてきて、利用者を楽しんで頂けているため、今後も交流が持てるようにしていく。職員自身が地域の機関や団体との関わりがなく、事業所として交流を持つことができなかったため、近隣の地域団体の会合に参加する機会を設け、地域の情報を収集していくようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

7. 運営	メンバー	赤津麻記子 本木孝 西田リサ 吉田敦 石本信子 阿部達朗 島崎真理子 若尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 寺田律子 佐久間千夏
-------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	10	0	0	13

前回の改善計画	リーダーやケアマネ、職員間で率直に意見を出し合える環境が今後も継続されるよう努める。利用者や家族、地域の要望・苦情を聞き取った際には申し送りをし、実現できるように検討、支援ができていたため、継続して行っていく。どんぐり夏祭りやハナモノ祭りなどのイベントには事業所としても積極的に参加し、地域とのつながりを持っていく。
---------	--

前回の改善計画に対する取組み結果	職員間で率直に意見を出し合える環境が整っている。利用者や家族からの意見要望が言いやすい環境であるのかが分からなく、家族とも積極的にコミュニケーションを取っていくようにする。施設行事やハナモノの会のイベントには積極的に参加できたため、今後も継続していく。積極的に幅広く地域と協働した活動は行えなかった。
------------------	--

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	9	2	1	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9	0	2	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	1	5	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	6	3	4	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
意見が言いやすい環境であり、意見を反映した支援が来ている。職員間での意見交換はできている。思ったこと感じたことや利用者、ご家族の意見は、リーダー・ケアマネに伝え、改善に努めている。要望や苦情などの対応はケアマネ中心に行えている。月1回のフロア会議で情報共有できている。ハナモノの会との交流、コミュニケーションが行えた。施設主催の行事に参加できた。イベントの参加を望まない利用者もみえ本人の意思に沿った対応を行った。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者が意見要望が言いやすい環境であるのかは分からない。運営推進会議や利用者・家族からの意見要望を具体的に運営に反映することはできなかった。家族とコミュニケーションを取る機会が少ない。会議や委員会で決まった事を遂行することができなかった。事業所のあり方をあまり理解できていないので、意見も言えていない。地域イベントに参加することはできていない。日々の業務に追われ、積極的に幅広く地域と協働した活動は行えなかった。出勤日数が少ないため、地域交流の意見があっても他職員に負担をかけてしまうと思う意見が出せない。地域の方が事業所をどう思われているか意見を聴く機会が設けられない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者や家族から意見要望が言いやすい環境となるように、「困った事はないですか」等声を掛け、積極的にコミュニケーションを取っていくようにする。利用者や家族などの話しを苦情に繋がるかもしれない意識を持ちながら聞き、気になる事はリーダー等に報告し指示を仰ぐ。利用者や家族からの個別の意見要望等を、事業所内に留めず、リーダー会や各委員会などの議題に挙げ施設全体へ周知していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	赤津麻記子 本木孝 西田リサ 吉田敦 石本信子 阿部達朗 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 寺田律子 佐久間千夏
-----------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	6	2	3	13

前回の改善計画	事業所全職員に年間で1回ずつ外部研修に参加できるよう勤務調整を行う。施設より提示されている外部研修ファイルを職員自ら閲覧し参加希望を募り、関心のある研修に参加できるようにしていく。施設内委員会の研修は委員が参加できているため今後も参加できるように努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	外部研修は、できるだけ勤務の中で参加できるよう調整を行ったが、変則勤務の中で調整しきれなかった。研修の情報はあったが、希望が出されなく参加できない職員がいた。内部研修は不参加でもテーマに沿って報告書が必要であり、全員が提出できた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	6	3	2	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	6	3	3	13
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	3	9	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	9	3	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
外部研修に出勤日に参加できるよう勤務調整に努めている。資格取得の研修やスキルアップ研修に参加できた。内部研修に参加できなかった職員へ資料を回覧し研修報告を記入するようにしている。リスクマネジメントは施設の委員会で取り組まれている。ヒヤリハット・事故報告をもとに早急に再発防止策を話し合えた。どんなリスクがあるかを考えながら、ケアができている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
外部研修に参加できなかった職員がいる。自ら研修参加希望を出すことが少なかった。外部研修の情報は多いが選びきれなかった。資格取得のための研修に参加できなかった。勤務時間内で研修参加できるようにする調整が難しかった。地域連絡会に参加する機会がなかった。リスクマネジメントについて事業所としては、積極的に話し合われなかった。転倒リスクへの対策がうまく周知できなかった。内部研修の報告書のフィードバックがなく、スキルアップになったか分からない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
外部研修に全員は参加できなかったが、春日井市が実施するスキルアップ研修は、身近なテーマの研修であり、参加意義が高かった。今後も多くの職員が参加できるよう研修案内を注視していく。ヒヤリハット報告書が事故報告書の数と比べると少なかった。ヒヤリハットがより多く報告できるよう様式の見直しなど安全教育委員会に提案していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月1日 (16:00~17:00)
------------------	-----	-------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	赤津麻記子 本木孝 西田リサ 吉田敦 石本信子 阿部達朗 島崎真理子 岩尾由紀子 吉田万里子 山本典子 井手久子 寺田律子 佐久間千夏
--------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	7	3	0	13

前回の改善計画	身体拘束、虐待、プライバシーについて意識を持って業務にあたっており、身体拘束、虐待は行われていないため、今後も継続していく。多くの職員が扱う書類やファイルが移動しており、使ったら戻すできていないため、事業所内を今一度整理整頓、不要なものの片づけを行い、書類の置き場所を確保し使用後に戻しやすい環境にしておく。
前回の改善計画に対する取組み結果	身体拘束、虐待防止は意識を持って業務にあたっており、身体拘束・虐待は行われていないため今後も継続していく。プライバシー保護については、書類の置き場所など個人情報の管理が不十分であり、会話が個人情報の漏洩につながる惧れがあるという意識が足りない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12	1	0	0	13
②	虐待は行われていない	12	1	0	0	13
③	プライバシーが守られている	3	9	0	1	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	1	3	9	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	9	2	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
中庭への散歩等外に出る機会を設けている。身体拘束、虐待は行われていない。利用者のプライドを考えた介助をしている。歩行が不安定な方でも本人の意思に合わせ行動できるよう対応している。レクの参加を本人の意思に任せている。身体拘束やスピーチロックにならないよう気を付けて声掛け、対応している。書類を決まった置き場に戻すよう心掛け行っている。	

siteiru

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度が必要なかの判断が難しく活用に至らない(事例がない)。整理整頓を行いスペースを作っても、すぐ物が置かれ乱雑になる。一つの行動が完結する前に次の行動に移り、整理整頓できない。書類がテーブルに広げて置いてあることがある。書類の整理整頓が乱雑でプライバシーの管理が不十分。個人記録が他者に見えるようになっていくことがある。大きい声で声かけし個人的な内容が他者に聞こえてしまっている。フロアで利用者について職員間で話している。スピーチロックに当たる声かけをしていると感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
中庭への散歩等外に出る機会を設けたり、身体拘束、虐待は行われていないため、今後も継続していく。個人記録を記入したら定位置にその都度戻したり裏返しにする、口頭での報告は大きな声で行わない等プライバシーの保護を徹底するよう、職員全員に周知していく。収納場所を整理整頓し、プライバシーの漏洩になり得るものを他者の目に触れない場所に変えるなど配慮していく。	